

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	大量肝切除における門脈・肝静脈同時塞栓の有効性に関する検討		
1. 研究の目的と方法	肝胆膵悪性腫瘍の根治に際し大量肝切除が必要な場合、切除側の門脈の塞栓*に加えて、残肝容積の更なる肥大を図るため肝静脈の塞栓を行うことがあります。本研究では門脈・肝静脈同時塞栓を施行した患者さんを対象とし、術後肝不全を主要評価項目としてその有効性、安全性を後方視的に検討することです。 *塞栓：血管を医療用のゼラチンスポンジ、人工物などを使用して詰めること		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	20歳以上で肝胆膵悪性腫瘍（肝細胞癌、肝内胆管癌、転移性肝癌、肝門部胆管癌、その他の肝腫瘍）の患者さんで、附属病院で2008年1月1日から2022年12月31日の間に門脈塞栓および門脈・肝静脈同時塞栓を受けた方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、年齢、性別、身体所見、既往歴、検査結果（血液検査、画像検査、病理検査）、診療録、手術録、術後合併症、再発・予後。	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 外科学講座
		氏名	春木孝一郎
	(2) 試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(3) 共同で研究を実施する機関とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。		

<b>【問い合わせ先】</b>	機関名：東京慈恵会医科大学 外科学講座 研究責任者：助教 春木 孝一郎（はるき こういちろう） 電話番号：03-3433-1111（内線 3401） 対応時間：平日 09：00 ～ 16：00
-----------------	---

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。